

2022年度 日本工学院専門学校											
電子・電気科／電気工事コース											
通信法規											
対象	2年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	本田堅一			実務経験	無	職種	非常勤講師				
担当教員紹介											
日本工学院専門学校電気工学科専任教員として長年従事。定年後は当学科非常勤講師として施工管理技術や資格対策講座を担当。民間の資格対策講習会の講師も歴任。											
授業概要											
この科目はDD第二種工事担任者の養成課程の認定科目である。従って、電気通信事業法、有線電気通信法、不正アクセス行為の禁止等に関する法律、電子署名及び認証業務に関する法律などの法規を理解することがねらいである。											
到達目標											
この授業では、DD第二種工事担任者の国家試験に出題される法規の問題が解けることを目標にしている。											
授業方法											
この授業では、電気通信の法規を学ぶことにより、通信工事の仕事の中で必要とする色々な規則を身につけること目指す。											
成績評価方法											
試験・課題 100% 試験により評価する											
履修上の注意											
この授業では、DD第二種工事担任者の養成課程の認定科目であるため、遅刻や欠席がないようにする。欠席をしたものは補習を受けなければならない。配布した練習問題については解答の確認や復習をしておくこと。修了試験に合格しない者、あるいは欠席の多い者は資格が与えられないので、注意する。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	用語の定義を理解する										
第2回	電気通信事業の種類を理解する										
第3回	端末設備の技術基準を理解する										
第4回	工事担任者を要しない工事を理解する										
第5回	工事担任者の種類を理解する										

2022年度 日本工学院専門学校	
電子・電気科／電気工事コース	
通信法規	
第6回	認定の対象となる端末機器、技術基準適合認定の表示を理解する
第7回	用語の定義を理解する
第8回	絶縁抵抗等、過大音響衝撃の発生防止を理解する
第9回	通信の基本的機能、発信の機能を理解する
第10回	移動電話端末を理解する
第11回	技術基準、非常通信、秘密の保護等を理解する
第12回	通信回路の電氣的条件、架空電線の支持物等を理解する
第13回	屋内電線、有線電気通信設備の保安を理解する
第14回	ユーザーになりすまして侵入したり、改ざんしたりする犯罪がおきないようにする
第15回	電子署名に手書き署名や押印と同等の効力を持たせる法的基盤を理解する